

ひであきレポート

ご意見をお寄せください

第64号 1版
2005年 春

活性化へ戦略を、知恵を！

3月9日(水)豊橋市議会本会議で伊藤ひであきは38回目の一般質問に登壇しました。

「愛知・岐阜・三重を結ぶ東海環状自動車道が、豊田JCTから中央自動車道で土岐ICで結び、さらに東海北陸自動車道的美濃関ICまで開通し、さらに延長が計画されている。

一言で言えば、『東海三県が一つ』の時代の到来です。

これはセントレアと万博の二大国家プロジェクトの関連インフラ整備に投下された約3兆円によるものです。

また4月1日には40万都市 新豊田市が発足し、愛知県二番目の都市になる。また7月には新浜松市が発足し、政令指定都市をめざす。

豊橋はこうした流れに取り残されているという危機感は市長にあるか」と市長に迫りました。

市長や産業部長などからは「中部圏域の一員として、地域全体の発展を願う立場からは東三河地域への重点投資等がおろそかになってはならない。ま

た、その中心都市として役割を果たしていききたい。

そのためにも地域力向上に向け、港と農業を始めとする産業振興を進めることが肝要である。

また企業や技科大などの人材や知的資源をまちづくりに生かしていくことが大切である」などの抽象的な答弁に終始しました。

「みどりと人のまちー豊橋の活性化には、知恵と戦略が必要なのだ！」

熱き思いは伝わったかどうか。



「東三河は、豊橋は取り残されているという危機感はあるのか！」明日の豊橋のために懸命な論陣

ハイライト:

「青陵街道に夏みかん並木を作ろう」と45年前に穴を掘った青陵中学の生徒会の知恵と実践。

昭和33年から歴史を重ねてきた「造形パラダイス」のものづくり活動。

成人式を校区毎に行い、地域の人たちに見守られ、小学6年の時の担任が駆けつけ再会と成長を喜び合う豊橋方式の成人式。

「子ども110番の家」の軒先にプランターを置き、花を育てながら地域と子どもの交流事業。

これらは歯車がいくつも回っています。これは誰の発想・知恵なのでしょう。

これらを100周年を期に「豊橋100物語」として後世に残すべきだ。

伊藤ひであきの一般質問の内容が「東日新聞」で取り上げられました

「豊橋が取り残されているという危機感はあるか。」

豊橋市議会の一般質問で、公明党の古参議員が市長に、豊橋活性化戦略論を挑んだ▼三重、愛知、岐阜の三県主要都市を環状に結ぶ「MAG Road」を取り上げ、「東海三県が一つの時代になる」と危機感をあおり、東の端で孤立しつつある豊橋と東三河地域の将来について、市長の気概ある答弁を求めた。セントレア開港、ポスト万博はーと▼戦後ライバルだった浜松市は環浜名湖都市構想を掲げ、一足先に政令指定都市に豊田市も周辺部を取り込んで新豊田市となり、豊橋市を抜いて愛知県下第2の都市になる。東三河は周辺市町村

風針

「豊橋が取り残されているという危機感はあるか。」

がミニ合併に奔走中。中核市・豊橋市は動かさること山のごとし▼市長は置いてきぼりの危機感を否定し、「身の丈答弁」に徹した。「民意の高まりを見て、急がず、焦らず。豊橋市を中心とした東三河はスローライフ。他都市は他都市ーだ▼豊橋には路面電車が走っている。公会堂もある。人々の心を和ませてくれる名物がある。たとえ規模で豊田市に負け、そのうちに岡崎市にも抜かれ、浜松市の半分ぐらいになっただとしても、豊橋市そのものに変わらぬ。ええじゃないか、ええじゃないか。本当にええじゃないか、だろっか。」

不本意(-_-)

ご意見をお寄せください

Email hide@apli.co.jp

いつでも、どなたでも
市民相談は伊藤ひであきへ
電話 53-3483
迅速・丁寧・即決

ホームページにアクセスを！
<http://www.itouhideaki.com>



「とよはしの巨木・名木 100選」完成！ 3年前の本会議での提案が実現しました。

平成14年(2002年)3月本会議で「悠久の時によって育まれた巨樹・巨木は地域のシンボルとして人々の心の拠りどころとなってきました。

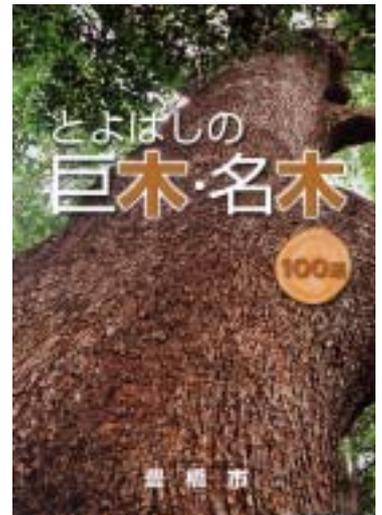
『緑のまち—豊橋』を標榜するならきちんとまとめるべきです」と訴えて提案しました。

あれから3年、市制施行100周年記念プレ事業として、この度、まとめられ発刊されました。

これは総代会を始め多くの皆様のご協力と参加によって約1,100本が推薦され、これらの中から「選定委員会」により選定されたものです。

貴重な地域の財産として次の100年先まで大切に守り、育みたいものです。

なお平成17年度予算では100選に指定された巨木・名木の中で樹勢の弱い樹木に対し、土壌改良を計画的に行うことになりました。



旭小学校のクスノキ

予算委員会での伊藤ひであきの質疑が3月15日付中日新聞に掲載

**豊橋市 共済制度見直しへ
退職金「上積み」批判受け**

豊橋市は、退職する市職員に市が半額を負担し、職員互助会などで最大四十万円を支給している。市が負担しており、二〇〇五年当初予算案では「脱退給与金を見直す。総額五千九百万円を計上十四日、市議会予算特別委員会でも明らかにした。

同日職員は勤務年数に応じた退職金とは別に職金の「重払いではないか」と指摘。加藤二男総務部長は「(脱退給与金を含む)共済費はすでに見直しに着手している」と答弁し、市負担分の削減を視野に共済制度全般の見直しに取り組むとしている。市人事課によると、今後、職員互助会理事会などで協議を進め、早ければ〇六年度予算案で見直しに入るとい

(丸田 稔之)

3月31日「駅前大通電停」開設！ 98年9月、02年3月議会の提案です

中心市街地の回遊性と商店街の活性化、併せて路面電車の活性化に向け、豊橋駅から300m離れた場所に「駅前大通」電停が開設されました。関連工事も含めると事業費は約8000万円。

また、岐阜市内の名鉄線の廃止に伴い低床車両の800系車両1台と780形7台が豊橋市内で走るようになります。「市民の足」としてさらにご活用を！

市民病院に「女性相談室」

昨春に「市民病院に女性専門外来を設置してください」と5万人余の署名で要望しましたが、いよいよ5月17日から経験豊かな女性看護師による「女性相談室」が開かれます。

相談開始日：5月17日(5月9日受付開始)
相談日：毎週火・金曜日午後1時から5時(予約制)
予約受付日：月・水・木曜日の午前中
予約専用電話：0532-33-6232
相談料：無料 相談室では医師の診察はありません

新年度予算で人件費を約10億円減額しました